

2026年4月13日
住友生命保険相互会社

地域住民の行動変容事業 地方創生プロジェクト「四国お遍路 Vitality ウォーク」を開始 ～第1弾の高知県との連携事業「高知家 Vitality ウォーク 2026」がスタート～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、自治体、NPO 法人遍路とおもてなしのネットワークと連携し、住民の健康づくりに向けた行動変容を促すべく、Vitality 健康プログラムの一部を活用した地方創生プロジェクト「四国お遍路 Vitality ウォーク」を開催します。この度、プロジェクトの第1弾として、包括連携協定を締結している高知県（高知県知事 濱田 省司、以下「高知県」）と、「高知家 Vitality ウォーク 2026」（以下「本事業」）を2026年4月13日^{※1}から実施します。

住友生命は、四国遍路の世界遺産登録を応援しており、本事業の参加者1名につき50円をNPO 法人遍路とおもてなしのネットワークに寄付します。なお、本事業を皮切りに順次、四国他県でも「四国お遍路 Vitality ウォーク」の実施を予定しています。他県との第2弾以降の実施については、別途ニュースリリース等でお知らせします。

※1 同日から募集開始し、参加者には4月20日からVitality 健康プログラムをご利用いただく予定です。

住友生命は、2018年の健康増進型保険“住友生命「Vitality」”発売以降、お客さま一人ひとりの健康増進をサポートし、健康長寿社会の実現を目指してきました。

2021年4月からは、保険契約と切り離してVitality 健康プログラムの一部を提供する「健康増進プログラム^{※2}」の提供を開始していますが、同プログラムを本事業でも活用し、高知県住民の健康づくりに向けた行動変容の促進を図ります。

※2 詳細は右記URLをご参照ください。<https://vitality.sumitomolife.co.jp/special/try-vitality/>

「住友生命グループ Vision2030」では、2030年のありたい姿として「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」を掲げています。地方創生プロジェクト等を通じて、充実した暮らしを支え、地域に根差したウェルビーイングサービスを提供し、人生のウェルビーイングを支えるインフラ企業を目指していきます。

<本事業の概要>

- ・公募した参加者に Vitality 健康プログラムの一部であるアクティブチャレンジに約2か月間取り組んでいただきます。
- ・アクティブチャレンジとは、1週間のサイクルで設定される運動ポイント目標を達成することで、コーヒーやドリンク等の各種商品チケットを獲得できる短期プログラムです。参加者が短期的な目標の達成を繰り返す中で、運動習慣を身につけ、健康増進につなげていくものです。
- ・応募方法等、本事業の詳細は高知県公式ホームページをご覧ください。本事業は高知県公式ホームページからお申込みいただけます。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025013100132/>



■高知県の概要

人 口 : 641,178 人 (2026年3月1日時点)
県庁所在地 : 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号
知 事 : 濱田 省司

【地方自治体との Vitality を活用した連携事業一覧】

地方自治体との Vitality を活用した連携事業の一覧、2年目以降の継続事業については、右記 URL をご参照ください (<https://www.sumitomolife.co.jp/news/walk/241101a.pdf>)。

【ご挨拶】

住友生命は、これまで100を超える多くの自治体と Vitality を活用した連携事業を実施してまいりましたが、本事業はこれまでの枠組みを超えて、地方創生に貢献する新規プロジェクトとなります。四国自治体およびNPO法人遍路とおもてなしのネットワークと連携し、四国遍路の魅力発信と健康長寿社会の実現に貢献してまいります。この度の第一弾「高知家 Vitality ウォーク 2026」を通じて、高知県の県民の皆さまが日々の暮らしの中で楽しみながら健康づくりに取り組んでいただけることを心より願っております。今後とも、本事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

自治体連携シニア・コーディネーターオフィサー 高崎 晃子

以上